

各健康診査のチェックポイント

徳 島 県

	新生児	1～2か月	3～4か月	5～6か月	7～9か月	10～12か月
観 察 の 要 点	<ul style="list-style-type: none"> ・身体発育状況 ・1日の体重増加量(30g程度) ・生理的体重減少(生後3～5日で出生時体重の10%前後) ・生理的黄疸(生後2～3日から見られる) ・胎便、移行便、母乳便、ミルク便 ・一日の大部分は眠っている ・裸にすると手足をよく動かす ・明るい光を当てると眩しがる 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の体重増加量(20～35g) ・あやすと笑い始める ・光を見つめる、動くものを目で追う ・裸にすると手足をばたばたさせる ・瞬き反射の出現 ・寝ていて首の向きを変える ・物音やガラガラ音の音を聞く ・手指をもてあそび、しゃぶったりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の体重増加量(15～20g) ・体重が出生時の2倍 ・あやすと笑って応える ・動くものを目で追う ・首がすわる ・腹ばいで頭をあげる ・ガラガラを少しの間握っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の体重増加量(10～15g) ・声を出してよく笑う ・歩く人を目で追う ・寝返りができる ・顔にかけた布などを手で取る ・おもちゃを取られる事に抵抗する ・手にしたものは何でも口にもっていく ・歯が生える 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の体重増加量(8～10g) ・養育者に特別の愛着を示す ・人見知り ・一人でずわっている ・欲しいものに手をのばしつかむ ・おもちゃをいじりまわす 	<ul style="list-style-type: none"> ・体重が出生時の3倍 ・身長が出生時の1.5倍 ・いろいろな喃語を出す ・はいはい、つかまり立ち ・探索行動が活発になる ・両手でおもちゃを打ち合わせることができる ・小さいものを指でつまむ ・芸当ができる
保 健 指 導 の 要 点	<ul style="list-style-type: none"> ・養育者の主体的な育児行動の確立(発達の個人差について、不安解消、自信を持たせる、相談相手を得る) ・母乳確立への援助(乳房の手当て、分泌促進法、授乳法) ・母乳不足感への対応(体重増加、尿回数、時間、機嫌) ・保温、室温、湿度、換気 ・入浴のさせ方、注意事項 ・衣類、おむつ、寝具(材質、着せ方、洗濯) ・おむつ交換の意義(清潔、快適) ・感染予防 ・ホームドクターについての考え方 ・事故防止(窒息) ・チャイルドシート着用について ・母子保健サービスの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンシップの重要性 ・あやしかけを多くする ・母乳育児継続への支援 ・授乳や乳房について ・混合栄養、人工栄養の指導 ・外出時の注意 ・予防接種 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛着形成の重要な時期 ・親子の相互作用の大切さ ・ミルク嫌いの対応 ・離乳の準備 ・動きやすい衣服 ・薄着の習慣 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の絆を深める ・離乳の開始 ・むし歯予防(甘味制限、口腔内の清潔、食習慣、生活習慣との関係) ・事故防止(転落、火傷、誤飲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人との関わりが発達を促す ・離乳中期 ・生活のリズムの確立 ・生活空間の拡大 戸外への散歩、他の子どもの遊んでいるところなどを喜ぶ ▶(母体からの免疫の低下) 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳後期 ・家族と一緒に食事、おやつとの与え方 ・自分でしたがる気持ちを十分にのばす(ものをいじって遊びたがる、歩きたがる、食べたがる)
異 常 な ど の 早 期 発 見	<ul style="list-style-type: none"> ・先天異常 ・強い黄疸 ・メレナ ・発熱 ・吐乳 ・便秘 ・停留嚥丸 ・外表奇形 	<ul style="list-style-type: none"> ・吐乳 ・便秘 ・鼠径ヘルニア ・臍ヘルニア 	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性股関節脱臼 ・心疾患 ・斜頸 ・湿疹 ・あやしても笑わない ・動くものを目で追わない ・首がすわらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・陰嚢水腫 ・鼠径ヘルニア ・からだ柔らかい、しっかりしない 	<ul style="list-style-type: none"> ・お座りができない ・音のする方を向かない 	<ul style="list-style-type: none"> ・心疾患 ・移動手段がない

		1歳6か月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
親 察 の 発 達 要 点	身体 発 育 ・ 発 達	<ul style="list-style-type: none"> ・体型は細身型に ・視力は0.2~0.4 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯が生えそろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・身長伸びが目立ち、土踏まずも完成する ・聴力は約20デシベル ・視力は0.6~0.9 	<ul style="list-style-type: none"> ・体型の細身化が目立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体のつり合いがよくとれスマートになる ・視力は1.0
	粗大運動	<ul style="list-style-type: none"> ・独り歩き 	<ul style="list-style-type: none"> ・走る ・大きいボールをける ・手すりにつかまり、一段ずつ足をそろえながら階段を昇る 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が盛んになり平衡感覚が著しく伸びる ・片足立ち、でんぐりがえし、三輪車をこぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・激しい運動ができるようになる ・全身運動がうまくなる ・スキップ、平均台をわたる、ブランコをこぐ ・スピードの調整が出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作が一層なめらかになり敏捷になる ・ブランコに立ち乗りして自分でこぐ ・ジャングルジムの上の方まで一人で登れる
	微細運動	<ul style="list-style-type: none"> ・積み木を2~3個積める ・絵本をめくる ・なぐり書きをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・積み木を6~7個積む ・ドアの取っ手を回す ・障子やふすまを開ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・手先の巧緻性が育つ ・クレヨンで○が書ける ・ハサミが使える 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物を描く、ハサミで切り抜く、ハサミのりで簡単なものを作る ・積み木でうちなどを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・思ったこと経験したことを絵に描ける ・簡単な折り紙ができる
	言語	<ul style="list-style-type: none"> ・知っているものを指さして教える ・意味のある単語が言える ・言語理解が進み、簡単な指示に従える 	<ul style="list-style-type: none"> ・二語文を話し、簡単な問いに答える ・からだの部分や「大、小」などが理解できる ・童謡に節をつけて部分的に歌える ・「なに？」など質問が増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話が可能になる ・自分の名前が言える ・三語文を話す ・数の概念が理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・話しことばが完成する ・経験したことを他の子どもに話をする ・ことばによる意志の伝達は正しい発音で可能となる ・「どうして？」と理由をたずねることが増える 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思い通りにことばをあやつる ・数や文字についての知識や理解が育ってきて、創造的活動も活発になる
	情緒	<ul style="list-style-type: none"> ・自我の芽生えが顕著になる ・不安を強く示したり、かんしゃくという形で怒りを表すことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己主張が強くなり、自分の思うようにやることが出来る ・制止されるとかんしゃくをおこして抵抗する 	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒の発達が目立ちみられる ・自己所有意識や自我意識が強くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒の抑えが可能になり、安定する ・想像力がたくましくなり、空想と現実をとりちがえることがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・感情を自己統制できる
	社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・対人関係と社会性が発達する ・模倣が盛んになる ・探索行動が盛んで、養育者から離れて動き回ることが、慣れない場所では離れない 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の子どもに興味を示し、後をついて行こうとする ・友達の名前がわかる ・積み木を電車などにみたくて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊び(役割を演じられる)ができ、順番がわかる ・協同的、援助的、譲歩的行動が芽ばえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性の発達が目立ってくる ・周囲に対してがまんする力が出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団でのルールが守れる ・弱い友達や年少児をいたわる ・友達と協力して一つのものを作る
	食事	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳が完了し、幼児食へ移行する ・スプーン・フォークが使える ・コップで水が飲める ・遊び食べ、むら食いははじまる 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で食事をするが、まだこぼしがちである 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶碗を持って食べられる ・はしが使えるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・完全に一人で食事をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食前から食後までの行動が自主的になり食卓の準備、片づけができる ・食事中に他の人と会話ができる
	排泄		<ul style="list-style-type: none"> ・排尿を予告するようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿意を訴えながらがまんできる ・一人でトイレに行けるが、後始末は手伝わないと無理である 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿意がなくても自分の意志で排尿できる ・夢中で遊んでいても漏らさない ・一人で大便の始末ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分からトイレに行き、大人の管理がいらぬ
	衣服着脱	<ul style="list-style-type: none"> ・帽子を一人でかぶる ・長靴やひものない短靴をはける 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でパンツやズボンを脱ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱ぐのは得意になる ・簡単なものは着ることが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・着衣はほとんど自分で出来る 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムが安定する 	<ul style="list-style-type: none"> ・しつけを開始する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることはするという自信が出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻をかむ ・歯をみがき、口をすすぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴後などに一人でからだを拭く
保健指導の要点	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の関わりや遊びをとおして精神面及び身体面の発達を促す ・咀嚼機能や消化機能にあわせた形態やバランスのとれた食事について ・食事の一部としておやつについて ・むし歯予防 ・事故防止と安全教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・からだを使った遊びを十分に行う ・言語理解が進み、表現が豊かになる時期なので、経験を豊富にさせる ・よくほめてあげ、適度に手伝いながら生活習慣の自立への意欲を高める ・基本的な生活習慣のしつけを開始する ・反抗期の大切さの理解とその対応 ・むし歯予防 ・事故防止と安全教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外の活発な遊びをとおして体力増進をはかる ・身体面の異常の早期発見と問題行動などへの対策 ・視聴覚異常、行動異常、習癖、不適切な関わり ・情緒の発達が目立ちみられる時期なので、経験豊かに養育されることが必要 ・友達遊びなどにより社会性を育てる ・親子遊びを充実させ、子どもの行動や生活を干渉しすぎない ・生活習慣の自立ができるよう援助する ・むし歯予防 ・事故防止と安全教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの質問には面倒がらずに答える ・知的発達とともに遊びの内容を深めていくような遊びの奨励 ・のびのびとした状態で自己実現ができるような環境を与える ・生活習慣の自立にむけて上手にできた時には、十分にほめる ・むし歯予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立心を育ててやり、本人のやることを最後まで見守る ・子どもの気持ちを理解し受け入れる(甘やかすのではない) ・他の子どもとの比較で高い水準を要求しすぎない ・食卓をコミュニケーションの場にする ・むし歯予防 	
異常など の 早期 発見	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性疾患(肝疾患、腎疾患、心疾患、気管支喘息) ・ひきつけ(熱性けいれん) ・難聴 ・斜視 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動発達の遅れ ・言語発達の遅れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・斜視・弱視 ・難聴 ・てんかん 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語発達の遅れ ・多動 ・自閉傾向 ・かんしゃく ・遺糞 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜尿 ・自慰行為 ・吃音 ・チック ・友達と遊べない 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動がとれない ・情緒不安 ・気になる言動

【M - CHAT について】

1歳半から2歳を標的として、自閉症スペクトラムの早期の気づきのためのスクリーニングアンケートとして米国で開発された。

共同注意行動（親が指さす方向や見ているものを児も一緒に見る、自ら指さしや物を持ってきて親に見せるなど）を含む非言語的な社会的行動に関連する項目を鍵項目とする。指さしは、人間特有の指示様式であり、1歳頃に「要求の指さし」がまず出現し、続いて「共感の指さし」、「応答の指さし」の順に遅くとも1歳半までにはみられるようになる。ほかに、自閉症スペクトラムに特異的な感覚反応や常同行動に関する項目も含んでいる。

日本での検討では、対象児1,727人中のM - CHAT陽性者は44人（2.5%）であり、その内半数弱22人がASD（自閉症スペクトラム障がい）と診断された。非ASDと診断された児も、全般的遅れなど支援が必要であったとのことである。M - CHAT陰性者の98.6%は非ASD児でしたが、1.3%（22人）が見逃されたASDであった。対象全体の中でのASDは2.5%（42人）であり、半数はM - CHATで抽出できたが、半数は出来なかった結果であった。

このようにM - CHATのみで早期の気づきがなされ診断に至るわけではなく、M - CHATで全てのASD児であることへの気づきを網羅出来るわけではなく限界はある。しかし、早期から気づき・支援を開始する上では有用であることと理解できる。今後乳幼児健診での導入が有用と考えられる。

【M - CHAT の利用の仕方・判定基準（標準的な方法）】

○第1スクリーニング

【時期と方法】 1歳6か月健診時にM - CHATを養育者が記入

【陽性基準】 全23項目中 3項目以上の不通過

または

重要10項目中 1項目以上の不通過

（重要10項目2、6、7、9、13、14、15、20、21、23）

陽性者は第2スクリーニングへ

○第2スクリーニング

【時期】 第1スクリーニングから1～2か月後

【方法】 保健師がM - CHATの各項目を養育者に直接電話で確認

【陽性基準】 全23項目中 3項目以上の不通過

または

重要10項目中 2項目以上の不通過

○第2スクリーニング陽性者へのその後対応

- ・ 2歳時に専門医に紹介 → 診断へ
 専門機関に紹介 → 療育へ
- ・ 3歳時でフォローする

日本語版 M-CHAT (The Japanese version of the M-CHAT)

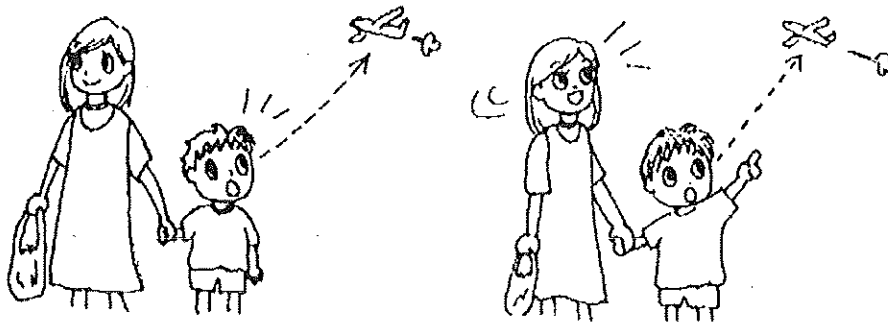
お子さんの目頃の様子について、もつとも質問にあてはまるものを○で開んでください。すべての質問にご回答くださるようお願いいたします。もし、質問の行動をめったにしないとされる場合は(たとえば、1, 2度しか見た覚えがないなど)、お子さんはそのような行動をしない(「いいえ」を選ぶように)とご回答ください。項目7, 9, 17, 23 については絵をご参考ください。

1. お子さんをブランコのように揺らしたり、ひざの上で揺ると喜びますか?	はい・いいえ
2. 他の子どもに興味がありますか?	はい・いいえ
3. 階段など、何かの上に這い上がることが好きですか?	はい・いいえ
4. イナイナイバーをすると喜びますか?	はい・いいえ
5. 電話の受話器を耳にあててしゃべるまねをしたり、人形やその他のモノを使ってごっこ遊びをしますか?	はい・いいえ
6. 何かほしいモノがある時、指をさして要求しますか?	はい・いいえ
7. 何かに興味を持った時、指をさして伝えようとしていますか?	はい・いいえ
8. クルマや積木などのオモチャを、口に入れたり、さわったり、落としたりする遊びではなく、オモチャに合った遊び方をしますか?	はい・いいえ
9. あなたに見てほしいモノがある時、それを見せに持ってきますか?	はい・いいえ
10. 1, 2秒より長く、あなたの目を見つめますか?	はい・いいえ
11. ある種の音に、とくに過敏に反応して不機嫌になりますか? (耳をふさぐなど)	はい・いいえ
12. あなたがお子さんの顔をみたり、笑いかけると、笑顔を返してきますか?	はい・いいえ
13. あなたのすることをまねしますか? (たとえば、口をとがらせてみせると、顔まねをしようとしますか?)	はい・いいえ
14. あなたが名前を呼ぶと、反応しますか?	はい・いいえ
15. あなたが部屋の中の離れたところにあるオモチャを指でさすと、お子さんはその方向を見ますか?	はい・いいえ
16. お子さんは歩きますか?	はい・いいえ
17. あなたが見ているモノを、お子さんも一緒に見ますか?	はい・いいえ
18. 顔の近くで指をひらひら動かすなどの変わった癖がありますか?	はい・いいえ
19. あなたの注意を、自分の方にひこうとしますか?	はい・いいえ
20. お子さんの耳が聞こえないのではないかと心配されたことがありますか?	はい・いいえ
21. 言われたことをわかっていますか?	はい・いいえ
22. 何もいらない宙をじーっと見つめたり、目的なくひたすらうろろろすることがありますか?	はい・いいえ
23. いつもと違うことがある時、あなたの顔を見て反応を確かめますか?	はい・いいえ

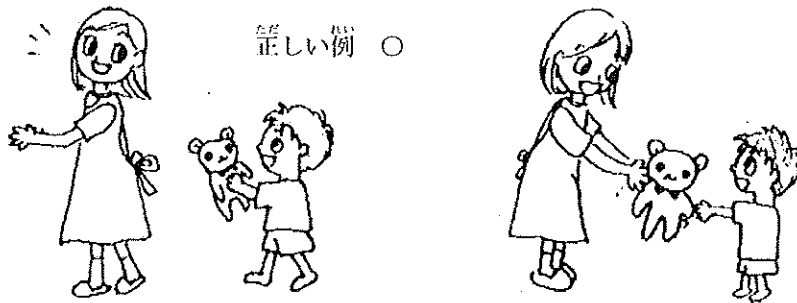
M-CHAT copy right (c) 1999 by Diana Robins, Deborah Fein, & Marianne Baton. Authorized translation by Yoko Kamio, National Institute of Mental Health, NCNP, Japan.

M-CHAT の著作権は Diana Robins, Deborah Fein, Marianne Barton にあります。この日本語訳は、国立精神・神経センター精神保健研究所児童・思春期精神保健部部長の神尾陽子が著作権所有者から正式に使用許可を得たものです。

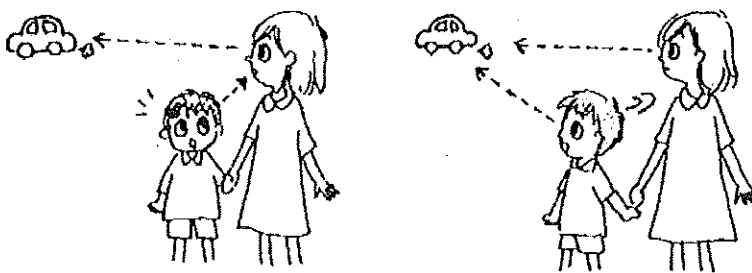
7. 何かに興味を持った時、指をさして伝えようとしていますか？



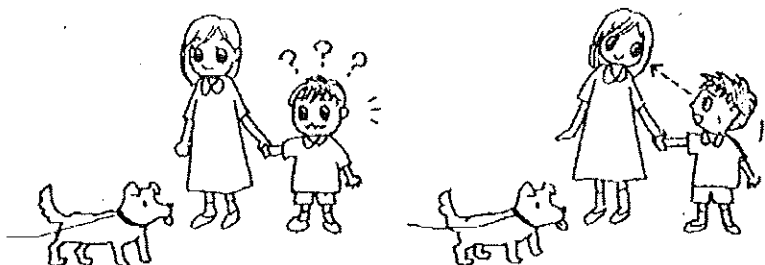
9. あなたに見てほしいモノがある時、それを見せに持ってきますか？



17. あなたが見ているモノを、お子さんも一緒に見ますか？



23. いつもと違うことがある時、あなたの顔を見て反応を確かめますか？



「遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表（九大小児科改訂版）」

氏名	生年月日	年月日生	診 断	検査 項目	1. 年 月 日		3. 年 月 日	
					男 女	外来番号	2. 年 月 日	4. 年 月 日
4:8		スキップができる	紙飛行機を自分で折る	ひとりで着衣ができる	砂場で二人以上で協力して一つの山を作る	文章の復唱(2/3) <small>(自分の名前を呼ぶこと、お名前を呼ばれたこと、お名前を呼ばれたこと)</small>	左右がわかる	
4:4		ブランコに立ちのりしてこぐ	はずむボールをつかむ	信号を見て正しく道路をわたる	ジャンケンで勝負をきめる	四数詞の復唱(2/3) 5-2-4-9 6-8-3-8 7-3-2-8	数の概念がわかる(5まで)	
4:0		片足で数歩とぶ	紙を直線にそって切る	入浴後、ある程度自分で体を洗う	母恩にことわって友達の家へ遊びに行く	肉親の姓名、住所を言う	冊子による物の指(5/5) <small>(本、鉛筆、時計、いす、電話)</small>	
3:8		福とび(両足をそろえて前にとぶ)	十字をかく	鼻をかむ	友達と順番にものを使う(ブランコなど)	文章の復唱(2/3) <small>(きれいな花をさいいます、飛行機はそらを飛ぶ、じよすずをうたいます)</small>	数の概念がわかる(3まで)	
3:4		でんぐりがえしをする	ボタンをはめる	顔をひとり洗う	「こうしていい?」と許可を求める	同年齢の子供と会話ができる	高い、低いかわかる	
3:0		片足で2~3秒立つ	はさみを使って紙を切る	上着を自分で脱ぐ	ままごとで役を演じることができる	二語文の復唱(2/3) <small>(小さな人形、赤いふうせん、おいしいお菓子)</small>	赤、青、黄、緑がわかる(4/4)	
2:9		立ったままぐるぐるまわる	まねて○をかく	靴をひとりではく	年下の子供の世話をやきたがる	二数詞の復唱(2/3) 5-8 6-2	長い、短いかわかる	
2:6		足を交互に出して階段をあがる	まねて直線を引く	こぼさないでひとり食べる	友達とけんかをすると言いつけにくる	自分の姓名を言う	大きい、小さいかわかる	
2:3		両足でびよんびよん飛ぶ	鉄棒などに両手でぶらさがる	ひとりでパンツを脱ぐ	電話ごっこをする	「きれいわ」「おいしいね」などの表現ができる	鼻、髪、舌、へそ、爪を指示する(4/6)	
2:0		ボールを前にける	積木を横に二つ以上ならべる	排便を予告する	親から離れて遊ぶ	二語文を話す(「わんわんきた」など)	「もうひとつ」「もうすこし」がわかる	
1:9		ひとりで一段ごとに足をそろえながら階段をあがる	鉛筆でぐるぐるまるをかく	ストローで飲む	友達と手をつなく	絵本を見て三つもの名前を言う	目、口、耳、手、足、腹を指示する(4/6)	
1:6		走る	コップからコップへ水をうつす	パンツをはかせるとき両足をひろげる	困難なことに出会うと助けを求める	絵本を見て一つの名前を言う	絵本を読んでもらいたがる	
1:4		靴をはいて歩く	積木を二つ重ねる	自分の口もとをひとりですくう	簡単な手伝いをする	3語文を言う	簡単な命令を実行する(「新聞を持っていらつしゃい」など)	
1:2		2~3歩あるく	コップの中の小粒をとり出そうとする	お菓子のつまみ箸をとって食べる	ほめられると同じ動作をくり返す	2語文を言う	要求を理解する(3/3) <small>(おいで、ちょうだい、ねんね)</small>	
1:0		座った位置から立ちあがる	なぐり書きをする	さじで食べようとする	父や母の後追いをする	ことばを1~2語、正しくまわる	要求を理解する(1/3) <small>(おいで、ちょうだい、ねんね)</small>	
0:11		つたい歩きをする	おもちゃの車を手で走らせる	コップを自分で持つて飲む	人見知りをする	音声をまねようとする	「バイバイ」や「さようなら」のことばに反応する	
0:10		つかまって立ちあがる	びんのふたを、あけたりしめたりする	泣かずに欲求を示す	身ぶりをまねする(オツムテンテンなど)	さかんにおしゃべりをする(雑語)	「いけません」と言うとき、ちょっと手をひっこめる	
0:9		ものにつかまって立っている	おもちゃのたいこをたたく	コップなどを両手で口に持っていく	おもちゃをとられると不快を示す	ク、ダ、チャなどの音が出る		
0:8		ひとりですて遊ぶ	親指と人さし指でつかもうとする	顔をふこうとするといやがる	鏡を見て笑いかけたり話しかけたりする	マ、バ、パなどの音が出る		
0:7		両ばいで体をまわす	おもちゃを一方の手から他方に持ちかえる	コップから飲む	親しみと怒った顔がわかる	おもちゃなどに向かかって声を出す	視の話し方で感情をききわける(禁止など)	
0:6		寝がえりをする	手を出してものをつかむ	ビスケットなどを自分で食べる	鏡に映った自分の顔に反応する	人に向かかって声を出す		
0:5		横向きに寝かせると寝がえりをする	ガラガラを振る	おもちゃを見ると動きが活発になる	人を見ると笑いかける	キヤーキヤー言う	母の声と他の人の声をききわける	
0:4		首がすわる	おもちゃをつかんでいる	さじから飲むことができる	あやされると声を出して笑う	声を出して笑う		
0:3		あおむけにして体をおこしたとき顔を保持	腕にふれたものを取ろうとして手を動かす	顔に布をかけられて不快を示す	人の声がする方に向く	泣かずに声を出す(ア、ウ、など)	人の声でしずまる	
0:2		両ばいで顔をちょっとあげる	手を口に持っていったらしゃぶる	満腹になると乳首を舌でおし出したり顔をそむけたりする	人の顔をじっと見つめる	いろいろな泣き声を出す		
0:1		あおむけでときどき左右に首の向きをかえる	手にふれたものをつかむ	空腹時に抱くと顔を乳の方に向けてはしがかる	泣いているとき抱きあげるとしずまる	元気な声で泣く	大きな音に反応する	
0:0 (年:月)	歴移手基対発言	移動運動	手の運動	基本的習慣	対人関係	発 語	言語理解	
	動の本語	運 動		社 会 性		言 語		

【自閉症スペクトラムが疑われる際の発達支援のポイントについて】

(1) 乳児期

日々の世話や触れ合いを通して大人との関わりが楽しいと思えるようにする。ハイハイする子どもを追いかけたり、子どもの動作を大人がまねして見せる。

子どもの笑顔には笑顔で応え、情緒的なコミュニケーションを積み重ねる。抱っこで遊んだり、日常的にスキンシップを心がける。

ひとり遊びばかりにならないよう、隣で楽しそうな遊びを見せたり、ボールなどのやりとり遊びに誘ってみる。

(2) 1～2歳児

子どもと目を合わせながら、大人に関心をもってもらい、簡単な模倣の「バイバイ」や「いないいないばあ」をしてあやしてみる。子どもと「ちょうだい」「どうぞ」「ありがとう」のやりとり遊びをする。

大人が見たものを指さし共感したり、欲しいものを指さして選ばせることで要求を引き出す。絵本を一緒に見ながら、「ワンワンね」などと大人が指さして伝える。こちらが聞いて指さしができたらオーバーに褒めて意欲を育てるようにする。

1歳半までに名前を呼ばれても反応しなかったり、指さしが出来なかったり、2歳になっても名詞が20個以上でなかったり、「ポイして」などの指示が入らなかったり、ままごと遊びがみられない時は、小児科医に相談してみる。

(3) 3歳児

大人の言うことを聞かない場合、信頼関係が育つように、子どもの話をまずはゆっくり聞いて、子どもにとって大好きな人になる。しかし、決して子どもの言いなりにはならないように気をつける。

強いこだわりは、生活に支障のないこだわりやお手伝いに代える。また、スケジュールを具体的に示したりして、わかりやすい環境に整えて、こだわりの元となる不安を軽減する。一番や勝負にこだわる時は、ゲームで負けた時に「まあいいか」と言う練習が有効である。

大人との1対1のやりとり遊びを通して、人への関心や簡単なルールを学ばせる。また、買い物や遠足など、実際に経験したことを「ごっこ遊び」として取り入れる。

予定をあらかじめ予告しておくことでパニックを予防できることが多いようである。パニックの際は、場所を変えたり、お気に入りの物を与えたりして、一定の場所で落ち着くまで見守る。

友達とのやりとりの言葉や遊ぶ時のルールを具体的に教えて適切に関る。また、相手の気持ちを丁寧に説明してあげる。同年齢の子どもと関わる時には、大人が橋渡し役になることが有効である。

※「乳幼児健康診査における精神運動発達のチェックポイント及び発達障害児の療育支援の手引き」参照

■執筆協力者

- ・森健治(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部子どもの保健・看護学分野)

■参考文献

- ・乳幼児健康診査の手引(新潟県保健福祉部、新潟県医師会)
- ・乳幼児保健指導の手引(新潟県保健福祉部)

各健康診査のチェックポイント

平成27年4月

編集・発行 徳島県保健福祉部健康増進課
所在地 〒770-8570
徳島県徳島市万代町1丁目1番地
電話 088-621-2220
FAX 088-621-2841
E-mail kenkouzoushinka@pref.tokushima.lg.jp